日七十月

製行所

報京日日新聞社 報京日日新聞社

村田 2本 会会 ほぼ

二十一 開門 北十十 編 編編門

が、常器都は暗風度の総数部 力無言した結果、明田度は相の地位を去る者へであつた あるから、その必要無しと若楓能総数時代の強能から商 援助してゐる事を示すもの。 展れば、名實共に岡田内閣、東京関通」民政黨の町田總 町田氏が練裁として入場し

基礎 に立つて考案さ

以で終り日滿兩國の不可分的等の極めて簡單なる數ケ條を

として日滿雨國政府の監督 っる。 委員長は 互端 双方より 各四

民政黨新總裁に 町田氏就任

民政黨ホッミ

ふ回答出

=篤ミ考慮の上け

總裁就任後も

る旨を約した民政黨では町田氏の總裁就任を確信してゐる情理を盡して懇請したが 町田氏は篤と考慮の上十七日回答す員は十六日午后 町田民政黨總務會長を訪問し、總裁就任方を(東京國通)民政黨の 總裁懇請委員たる賴母木、川崎氏等の委

商相を辭任せな で 前線裁の翻読に從ひ十八日正午で 前線裁の翻読に從ひ十八日山本藩維 一を受け續いて十八日山本藩維 一を受け續いて十八日山本藩維 一 と會見後

国立十名に及ぶ大異動を断行 東京國通 地方長官の大異 が新官制に依る四部長全部に する行政別新を目標として約 でする行政別新を目標として約 でする行政別新を目標として約

辭職說 打消す

八時中上京したが、船中で語りらる丸で十六日朝入港、午後

林満鐵總裁

特殊なる提携をなし 右條約案文の内容は 内容は確認のの | 工業所有權保護條約に關し

闘する主旨即ち日

殊關係に基いて日

殊會社に闘する重要事項のする重要事項、日滿合辨特 【東京園通】工業所有權保護 修約に日本の加入を動告すべ し等の報道が一部に傳へられ 日本を不正競争闕観する謬見 を流布する處れあるにより外 務営局は十六日左の如き當局 談を試みその貫相を明らかに した 約加入を勤告すべく日本に 業保護司閥係約の當事國に 業保護司閥係約の當事國に を保護司閥係約の當事國に がレー九二五年のペーク條

前文にはじまり 所在地 新京とす

もその加入を要請せる由報 道されたが日本は既に昨年 十一月十四日スイス 國政府 に對しへ」が條約加入を正 式通告し右加入は本年一月 十一日より實効を發生し現 在に至つて居るのであるか ら右報道は日本に關する限 り正確にあらず、尚日本と しては右へ」が條約實施に 必要なる不正競爭防止法商 必要なる不正競爭防止法商 十一日より實施されて居る效震生の日、即ち本年一日対震生の日、即ち本年一日

精的解決を決意し今月下旬日 中の知目交渉に依り圓滿協定成 中の知目交渉に依り圓滿協定成 が立つたが、廣田 外相は更に日ソ間の懸案の漸

任の途に就く大田駐ッ大使の 本皮切りに全面的交渉開始の 形の驚題となつた、即ち兩國交 形の驚題となった、即ち兩國交 場の問題となった、即ち兩國交 に がの問題となった。即ち兩國交 に がの問題となる諮問題は漁業 に

第されるものと見られる 等で日ソ兩國の關係はこれ等 等で日ソ兩國の關係はこれ等 國境紛爭防止委員會設置 定した、用發は多分二十三、改定交渉のほか ヤ經由で東京に急行するに決議題となる諮問題は漁業 に至り豫定を變更してシベリカとなつた、即ち兩國交 旨の希望があつたので十六日 四日となる筈で東京には二月

無い

だ達者さ

Щ 行ふ筈であ なるべくサイモン外相と會見なるべくサイモン外相と會見 中旬以前に歸着の豫定である し今迄の結末をつけ且つ再開

停年二年延期

米特派記者

地方部長級

山本中将山本中将

東京に急ぐ

を願ひ出る

南大使は十七日午前十時三十

南大使と會見

模様で多分十九日観合されるに観合は目下のところ系離の と云ふので停年二年延長方願で東京國通」帝國在郷軍人會 ソーセが 長鈴木 飛行に成功 四川との連絡

百五十名異動

十九日ごろ發令か

めチタを出發し外蒙経

から大使館においてニュートソン雨氏と約三十分間會見した、ヴェナタ氏は今回歸園してのボートソン氏は今回歸園であこれとなり、その後任とてのボートソン氏が上海から特派されることになつたので雨氏は挨拶のため南大使を 東北振興

特別委員任命 調查會

ふことなんか、あてになりませ

全國各樂店にあり

云ひましたか

したか……あんな人の云

を行つた後、直ち

虚勢だ

最後の切れ

女八人感激時代 ==

豫算總會と

((禁上映上演轉載))-作 澤 關子…… 夏川 瓣 子 八 林梅 子…… 夏川 瓣 江 鄉 學子…… 夏川 瓣 江

しませら

治るものを治さずに

おくのは即かです

龍角散週間

んせきを

政友の質問者

首相》 鈴木政友總裁の辯 の會見拒絶につき 4

會ふ積りだ。爆弾動議の後 十七、八兩日は黨の豫算委 員と幹部の聯合協議會があ るから駄目だと言つて虧は つて置いた、首相が來れば 本希望が相當强いやうだ自 は政府の出様如何できまる が質現せば支那各地の共産軍 ものである、首相の施政方 は武器彈墜供給に非常な便宜 自分にやつて貰ひたいと云 が質現せば支那各地の共産軍 を享くるものと見られて居ぐ をすくるものと見られて居ぐ

(東京國通) 政友會は休會明 一次日本経二時より本部に の十六日午後二時より本部に の一次日本経費を開き本會議の に内外線務會を開き本會議の に対象を開き本會議の

【南京十六日發國通】某所齎

國防問題

型方言大阪に、結婚の話しを持 変形できないま、佐々木から

しまつた。佐々木も、理由かわ

喘痰

後方連絡成る

(東京國通) 政友會は豫算總會での質問と質問者を大体左 の通り決定する模様である 東武君農村災害、大口喜六 君財政問題、小暮武太夫君 挺濟問題、本組正孝君米穀 問題、津雲國利君綱紀問題 名川侃一君人權蹂躙問題、 人角三郎君、原口初太郎君

35

限りある人生川夏川静江作

CIII)

懸案解决を

具体的に懇談

けふ關東軍首脳部

めてゐた。

ってみた。

ユーモア的なものになって

しま

チのフオークを、しづかにする

いてゐたグラス。サンドウイッ

もしないで、俯向いたまゝ実つ

ち出されても、

べつにおどろき

が職からは強いもので、 悉くり他仕方がなかつた。それは、 およそ結婚。 申込みなどと云ふ

鬱りです。人混みや公館の際上でゴホン

と眩をする人達は、たんせきは、首歌し得る

といふ事を知らぬ非交際人といへるからで

永年慢性にて苦悶せる人

龍角数の治験を凝して

どらんなさい。 快い野を理へ ることが出来

*

暇候を健全にする事は交別人の

では、 ないで、 はなに、 終婚を で、 はない、 ないで、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 はない、 に、 をつと 細い

幾多重要法案も

相次いで成立せん

條約締結は遅くも一

月下旬

思想教育

日滿經濟會議具現・

る 筈である ・ というである

政友會の

を結局は或程度の追加強等 で結局は或程度の追加強等 で結局は或程度の追加強等 **仕来に就いて政府は一切を** ものが多いので目下考へ 関することが必要だと云 際自分が立つて議會を通 際自分が立つて議會を通 「首相の招待に應じ難き」

自邸を訪問

司令官豪において初代關東局三十分から約一時間に亘り軍

議會演説の

特別委員は昨日岡田首相が左 時別委員は昨日岡田首相が左 吉田翰長、金森法制局長官 丹羽大官、津島大官、馬場

中込むなんて大腿、解卒・やう 中込むなんて大腿、解卒・やう

申込むなんて大戦、解答

内容を奏上

那須皓

と、伝つた。それで楽世子は、 おろで、 おろで、 おろで、 あら…」

大勝した

ナチス

田首答は、東京 邸に鈴木總裁を訪問し儀相は十八日午前九時九段

共同現地案の提出を求め日

經營が列國より色眼鏡を以て 関に於ける日滿の經濟的共同

世田氏赴任

【東京國通】鈴木總裁をして

町田會長から

政府支援言明

陣頭に立たず

かくて 徐來確然たる

相次いで成立するものと期待 業法を始め幾多の電要法案が 業法を始め幾多の電要法案が

店るものである 上の義務を完全に履行して のであり日本としては條約

災害救濟

外交經濟 芦

社會政策

を完成、直ちに對 とするに至り正

の本質を列國に諒解せしむる ・ 本質を列國に諒解せしむる ・ 本質を列國に諒解せしむる

正競爭國視する

本の体會明け議會劈頭政府の施政 たさしむべく諸氏は總務會の 意向を齎して鈴木總裁を私邸 に訪ひ勸設したが鈴木總裁は 自分の起つべき時期は自ら他 の機會があると思ふので此際 は起ちたくないとの意見を洩

【東京國通】十六日の町田邸に於ける民政黨長老會 ことは注目に値する

政の一が「パリアリア」 英國を訪問 首外兩相 備、歐洲政局に闘し ンドンを訪問、ドイッ相 は州

政黨長老會議で

の各機關首腦者と會見、種々の各機關首腦者と會見、死寒線務線長 日午後、岡田首相は廿日午前 十一時薬山へ伺候し議會での 施政方針演説内容を奏上する が、高橋職相も廿一日御還幸 が、高橋職相も廿一日御還幸 いて具体的問題に觸れたもの 一般の内容は各方面の懸案につ 悪談するところがあつた、 懇 思はれるが、長岡總長着任

人事往來

したアチスは早くも共産黨狩 【ザール十五日饅園通】大勝

共産黨狩り

北鐵交渉に引續き

更に日ソ懸案の解决

外相から全面的交渉を開始

あたが本省よりなるべく早く き旨の希望を本省に通達して

交渉經過の報告を聴取したき

が自分の離任説は南軍司令 官と會つた際にも話は無く 官と會つた際にも話は無く 就任當時は丙閣の更迭毎に 離める様ではよくないから 五年位はやるやらにとの話

洲建設に對して協力一致を申後首脳部の初額合せであり滿 合せたものとみられる 山口縣補選 ▲ 首際定氏 (大連)、十六日午 後五時膏大連から名古屋ホテル投宿

「東京國通」 編に松幽洋右氏 施騰負補缺選擧に關して民政 施定小川寅彦、道源權次兩氏 院騰負補缺選擧に關して民政 を立てる方針で久原開縣支部 長の意見を聞いてゐるが、松 長の意見を聞いてゐるが、松 で補者を立てず成行に変せる 民政候補決る



ですなア ンでは度々、衝散してゐるやう 使な水も、無がついて、思はず ナフキンをいへ持つて行くと、 おもはず賢き出しさうになって一のもまた酸的くはないだ と、頭をかいた。

ことの云へるほど、のんびりし れば、候補者の方が際山おあり と、素性子も、思はずこんな がかがあり、それだけで、から云 ・悲劇が結婚の常調的條件の大 といふこと、それが何よりの選 下さいませんか。僕、急いでる るんですがねえ 消へたときに、 を考って素世子の誰から笑ひの ばならないと、ふとこんなこと 『とにかく、ひとつ名へて見て

やうに、佐々木は云つた。 「やあ、よつほど待つてるたか と、まるで、商取引か何かの

た領もちになってるため

なさる

女のゐるベットのはうへ近づい と、云ひながら、佐々木は、 大四十八四二 日十八日日华分 十十日日分分分 三二一五三二 十十十 職職 競錢

藤井得三郎西店本舗紫倉山

病性液を切[OMIO を を 東京 九一 零

が関めて、

と、つけ起した。佐々木は、 びつくりしたやうに、素世子を

「ジェーム氏の夫人から、もう

家と共にいましてるるこの戦歩 行きあたりばつたり、この戦天 できるたりばつたり、この戦天 ・を繋外機めずにある自分を硬見 いた、からして突ひながら を、ロンドンへまで延載させる 氣管内に停滯せる汚物、臓臓内の野遊に 脈病の酸は俗にいふカラセキです。 寒さに向ふと俗にいふ引風、交はバイ キン作用に因る感情に確ります。お子供 さんならば。百日咳です。これ等は油酸 0 すると歴炎、朦朧炎、脈結核等に整定いた します。然し元來怠性質の疑問は治療

効果も強かですから、

お用りになる歌

をお聞め歌し

所収の動角散を

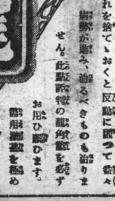


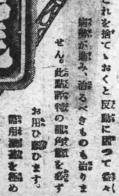


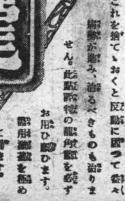


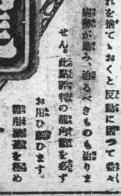




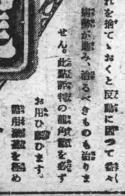


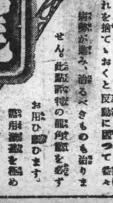












皇帝に拜謁

太平洋を一足飛び

ルー、競技 一、競技 一、競技 一、競技 一、競技 一、競技 一、競技 一、ののでは、一個スケータ 一、ののでは、一個スケータ 一、ののでは、一個スケータ 一、ののでは、一個スケータ

レー(四百米)

新男松番高巴大出金大瓊楣筑太九坊土綾大笠出

開催されるが

百米ン一四回室、西、白 十二、ドリーブル競走(二百 米)一回中県

百米)一四回室、す・

コ民線動員で盛大に ・ スケート大會は二 十、フイガー 模範(三十分) ・ スケート大會は二 十、フイガー 模範(三十分) ・ スケート大會は二 十、フイガー 模範(三十分)

市民總動員で實施

入會

相撲の

相撲の七日目取組みは左の如【東京國通】國按館春場所大

總公會堂

電(呼)二七七六番京神社横い

七日日の取組

獨步の名浪曲

命は是非!!

複現出 寫像 別 想 機 撮 伸 付 影

設

寫眞

築現場

尙●康

念撮影は 價敏速

御

家

開演

誇る純國産機

來春三月大空に初デヴ

石川航空兵中尉が

歐亞一周飛行

男、西、白 男、西、白 要、西、白 美

(二百米)三国

(二百米)三回

十六、選**手千五百米三回男室** 商一回

(二百米)三国

走(二百米)三

(二百米)三回

ス二百米五

三、簡コロガジ

シ(二百米)三

十五、選手五百米六周男 田女、高女、一般

とになった其の製作を企関し で一気に飛び越へる長距離の で一気に飛び越へる長距離の に東京関通】太平洋を無常陸

に勢なから以曙光を投げ

躍進!

ス 二

一天側通」消費組合代表

代表者會議 奉天同業組合

各地に散住してゆく

踊のタ

斯民社主催

音樂と舞

京商の新卒業生は

体育聯盟劍道 体育聯盟劍道

の参加を釈迦し道具一式は主論一般市民學生同好者は振つとに行はれる、満鐵社員は勿

も本格的になり

初心者は特に歡迎

やはり大もて

卒業までには一人残らず

場において佐

藤範士指導のも

日まで二週間

新京商業學校道

精動者にはそれぞれ

待遇は去年ご同様

金)

満洲國の使用者漸次增

新民社主催の貧民救済音楽と 舞踊の夕が二十二日と二十三 時町の記念公會堂で開催される、會費は金一圓、両日のブ

会に相當纒つた数の採用を であるが、探済的には相變 であるが、探済的には相變 であるが、探済的には相變 であるが、探済的には相變 であるが、探済的には相變 です。まれず北鐵護渡成立を です。東京関通〕十六日アフガニ でフガン進出 でフガン進出

を呈してゐるが殊に本年北鐵 豫しこ就職職のなかにあつて一昨年以來まさに大異常の觀 はれてゐるやうである、この一時年以來まさに大異常の觀 はれてゐるやうである、この鮮方面からの就職運動が一層 の接收を見越しそれに日滿合

(係長、社會主事、土木主任が敷地下檢分を行つた結果西公園地下檢分を行つた結果西公園地下檢分を行った結果西公園の場所に西南方白菊町二丁目の場所に西南方白菊町二丁目の場所に

B

商議側妥協を策す

吉澤總領事に斡旋方を依賴 愈よ調停に乘出す

大原地方議長 谷要路を訪問

一年十四日

罪事件數は合計五百六十七件 「吉林國通」吉林醫察廳昨年 「吉林國通」吉林醫察廳昨年 吉林警察廳

縷々反對を陳情

白鷹丸 ニ、歌劇「デブシーダンス」 (カルメンの))(リー

(和歌山國通) 水産講習所練習船白鷹丸は練習生七十名を 類と昨年十月南洋ニューギニ アに向つたが珊期以上の好成 おで十六日午前七時宮地に人 じ物」(サドーフスカーヤ)四、獨唱カルメン拔萃曲「判

南洋から歸る

新京高女で

研究發表會

新設プ

リン獨奏」(ブラムス作 逃亡一萬)これが補充に腐心 の (ジューベルト作曲) 入電に使れば河南、湖北、安 (ジューベルト作曲) 入電に使れば河南、湖北、安 (ジューベルト作曲) 入電に使れば河南、湖北、安 (ジューベルト作曲) 入電に使れば河南、湖北、安 (ジューベルト作曲) 入電に使れば河南、湖北、安 (シューベルト作曲) 入電に使れば河南、湖北、安 (孝天國通) 確實なる筋への 気 學良の募兵

準備に

敷地は白菊町

解氷期を待ち着工

の盛大な歌迎會を開催した「東京関通」岡田首相は正午

四、ソプラノ獨唱(サドーーフ(十四字) 和配

日午後一時から子安國音會本 等度最初の創書を修行するか ら書員は勿論一数信者の参詣

だっては、フリースケーチングの二科目の最終者を暴行する。

中、商中、商本中、高女西、高女西、高女西、高女西、高女

事務員募集

煎茶道並に

上原校長登校

中、商

女ザ 女事

ーピス係

務員

若

五千

名名

ボ

(五十回)

法教授

館壹岐南州とい

目二番鄉公學

氏は漸く全快、十六日登校してゐた室町小學校長上原種豐

滿鮮對抗

お一般路第一○號
右募集す希望者は至急履懸書持念の上來談ありたして購入なれば日本話をかなり解する方

帝都キネマ事務所

冰滑大會

體法教授所が出

ふの銀相場

10元三六分回

リンゴ批判會

12

より三日間市内記念公會堂に置く滿州果樹組合では十八日 會を開催し市内各方面有力者於て同組合産林檎の試食批判

で の時、夜は七一前九時から十二

鈔票對國幣 金票對國幣

授科目は本紙廣

和 100mm 100

鮮野抗スケート競技大會は結 年中行事鴨線江上に於ける滿 行の鞭矩であつた 関境都市の

【安東國通】來る二月三日學

縣

八各位

取止めとなる

氷がおくれた為め取止めとな

下所簿左富 度迄作記山

一月十七日と現住所氏名並ニ出缺ヲ御知ラセ被を現住所氏名並ニ出缺ヲ御知ラセ被を現住所氏名並ニ出缺ヲ御知ラセ被を現住所氏名並ニ出缺ヲ御知ラセ被を関を受ける。

初觀音會

数百名を招待自慢の満洲林檎

告欄にある通 時午後一時か 來た、豊は午

市内曙町禪宗大正寺では十八 後二時からば一天の諸焦三日 新京高等女郎

午前十一時零下十七度

校内リンクにおい学校では十八日午

より天津、保定、石家莊等一と見られる
秋二萬人の募兵を諡すべく順 して募兵に着手したが、右は約二萬人の募兵を諡すべく順 して募兵に着手したが、右はし、今回北平軍事分會を通じ 二箇所にそれぞれ委員を設置

は高島屋新京出張所二

名電業公司三名

ない (学校楽園)

本年度最初 の試み

るとみてをり苦しこれ 元んど病戯に入ることが

れるとしても卒業まで 職ヶ所の決らないやう

と樂觀してゐるなほ今年卒業

蝦高く七十間で大體からみて 七十五臓。中銀が昨年より五

撲六日目勝負左の如し 東京相撲 六日目勝負

昨年と大同小異である

玉男高武新旭能経流和大吉振出鏡加駒磐富楯出 女 巌 代制波歌 野光羽 古の の 羽 錦川登山海川潟川鱗島潮岩山花岩川里石山甲嶽へ ドニきよきかよひつつつうひよよそよよよこつ

めすから開始

道寒稽古

よこきよまかよひつつつうひよよそよよよりつつうひょよそもりりりつきりりをかたたたたたからかったかたおかただだちおきさけほしししたかとりりけししししししししししし 双番清松巴綾金大瓊土大柱綾大九出太玉綾防綾 葉神水前 華邱の州 八州羽刀の 長 負 山山川山潟川山山浦山浪川昇州山湊若海若山錦)

で學校の意響では希望通りで學校の意響では希望者名は全部減鐵入社の希望者名は全部減鐵入社の希望者 その他國際運輸大與公司、 政部九名の都合二十二名で 山支店二名、財 鏡眼

電二四十六番

警察

古野町

町二/ 1 編(M) 河崎桃之助 河崎桃之助

南坡

會場時際

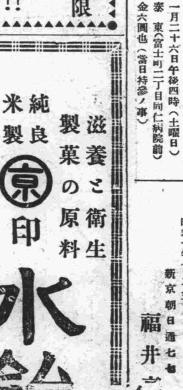
浪界の

廿一日日限 人來る

新京配町二丁目一

製造元新京製館





目同仁病院前)

新京 朝日 通七七年照和十年一月十五日 新京 朝日 通七七年 **三梨組** 二十七才

種取揃へて 解 告

张 九五二 四

有ります 靴 靴の百 貨店

チェッコ製品

裏 毛 防

ツク 防

源の 0 溢洲國安東縣三番通 田原商店

本就主他の記念公會堂に於ける映畵會にて作十六日夜は本就主他の記念公會堂に於ける映畵會にて作十六日夜は一次翻翻物果を欠ぎ御顧栄各位に對し個不滿を與へたることを確信とも中澤ありまぜん、該品は新京にないので急遣をは何とも中澤ありまぜん、該品は新京にないので急遣をは何ることを確信致します名をの一部トランスの故障に依頼を映画を明ません。 新京日日新聞社 波刀州長州

護店(市内目状の場所)

居拔きのまゝ譲る 御相談は、電話三四九五番へ

名

一流割烹店(料理店向き)目下盛業中

大が関門になって、関関を無け

と、防主頭の栗地の熊間

はらうとした。 途端にし

一臓取ツ待つた。」

てた。た。た、日報

万を投げ込んだのは、お万の領極「何をツ。」

育兒相談科科

見見

れて東たは春末社を入れた大一座

を見物する心意、吉原から連

かつてゐた。既なく確る官の手の世帯と心場の茶屋の表三階に

第、矢立川棚之助は、野研

好るのだつた。

一個だよ、一人さん……喧嘩だ」用の指摘しとうしてもお前が気

^{士學}小倉久雄

電五二四三 電五二四三

江戸相撲さ

は、戦も柴方も息をつめてを投げ出した敵女、お万の

配合ふ意地 (五)

鈴木彦次郎

なへ。」 日期は、 笑ひながら 物質 「まあ一人、 なから、なけ付けやした…」 さんが喧嘩のなかに飛込んで かれっさる数セフて、 ・比喩職は二人の勝負できめよ

一 「何とッっ」 「何とッっ」 「何とッっ」

には大凶日米は思ひの外

中国国事

だいや、突の事ちゃれえあつし 、 其際子が、又如何にも可樂しい ずを殴つて「水だ、水だ……。水 たのかい いて、目を白黒させながら、脳を まったく大魔な優祖で方だる間

・大要でがす。御注 が突きさうな形態!

ばつた。 とつさにお万と目をぐつと使へか 「おおツ、わりや矢立順だな」 一一般、どいてドんせつ。矢立

●三碧の人 総大なる良選日 中と神と中が吉 中と神と中が吉 神と中と変が吉 神と中と変が吉 五黄の人 内に配っています。 ・大白の人 徳を吹っていば吉慶自な では、一大白の人 徳を吹っていば古慶自な 肉に屈託するよ 一島来るべし

といよが、発展へで称でもこしら

ら 概様の印を集めた草砂糖を叩きつの他が根手だ。」は貼の頭は、入 いの刺音をくいと出した。 一般方を搾へてゐた意の者、順が を放いだとなると、能子を投 がある。 がある。 があると、能子を投 けると、亡くちゃになった熊大様

●一白の人 ま 副徳には至つて緑の河 副徳には至つて緑の河 これを敗する に乗る時は意外に大失敗すると手と子が吉

N P 牛 執 先 中金 宿 勝 午曜 日 八 十 月 一 日四十月二十第 詩·郎太掬橋高 曲·詩夜 口江

▲本チの | 三 | 本チの | 三 | 本子の | 本子の | 和 | 本子の | 本子の | 和 | 本子の | 本子の | 和 | 本子の | 本子の | 本子の | 本子の | 和 | 本子の | 本子の | 和 | 本子の | 本子の



谷鹿 掘

丁二町笠三

吉林大カフェ

行

上班上班

行友李風階作

戶

八

景。

歲末同情週間

ゴトウ 6 3 5 6

何卒多少に不拘 (出輸迅速) ノヂュ・ 御試食を… 新京吉野町〈銀座〉

取扱懇切の保險は信用厚く 御申込は 治 和洋行 命

「入院隨意」 内科 朝鮮人普通學校ノ西隣 小兒科

師語倒 雅宗中央低(斯拉南郊)) 罗話 "为表内四一 五番, 50 紅茶サンドウエッチ洋菓子等的飲物。事節果物・ 和学員共出前出張お調理数シマス●

女給さん拾名入用 申込所 新京永樂町 **第二**

煎茶道並に禮法教授 教授時間 自自自 自市 上 至至至 十四十

時 時時

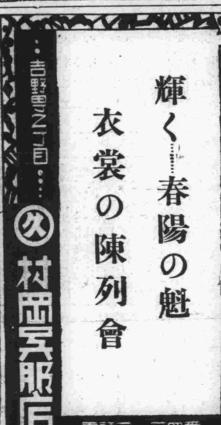
6



世帶道具一式 食料品雜貨 和洋酒罐詰類

京ダイ 電話三〇五 のホヤ

御諸用官廳







家敷設間場

新發屯淸和街 温水式煖房、水洗式便所 一一 ケ 月 分 家 七十七圆 前 六叠

東亞與業株式會社新京出張所新京特別市新發屯清和街第一〇一號

樂道食 電話四 八八八船町四丁

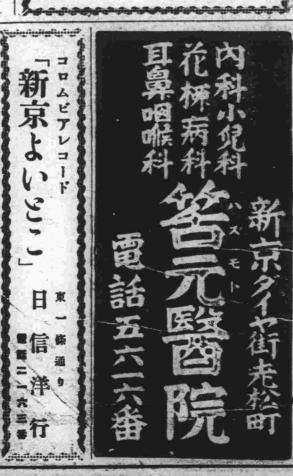
新築!御氣持よき御座數 そして御氣輕な











融組 月中業務

と相成つて居ります。 と相成つて居りま

所崇智路電六八五〇乞照公 水便台 所小家族资

電話 10八五冊

又其の内四十局、

工地家屋

家屋 土地 前會教光金四五通條-東京新 **社 成 萬** 番四八八四話電

にも御利用願度左記に御申込み願上ます。 自電 宮本 部(平井) 更生を希ふ失業困窮者の相談に應ず

曜朔・また 四日 興行

株式の賣買に 東一條通り四六ノ三東一條通り四六ノ三 致しますハガキで御申なき方のために投資案 物量大路・過剰水用売齢 万洋豊和 音楽 一型にかくの際のこま 850

丁二町士富七七八六話電

循環清淨機設置

門司、神戶(大阪行)

安全・優

新京説町新京+

取扱を致します 包 便として 甘栗を内地送りの 羊 果 9 0 0 電話二 吉寶阿一丁目 ハ
立
著

设合产

北日本汽船

差 非 弊 店 へ

統統統統

0)

大連港より積出し乃至陸揚げ さる * 輸出入貨物は從來取扱 さる * 輸出入貨物は從來取扱 は大に悲難されてゐたが薄鍵 は大に悲難されてゐたが薄鍵 は大に悲難されてゐたが薄鍵 は大に悲難されてゐたが薄鍵 とを區別し一見明瞭なる標識 を付し船積及場荷を迅速に行 を付し船積及場荷を迅速に行 を付し船積及場荷を迅速に行 を可遺貨物は倉庫に繰入れる 等の改善が行はれた事は幾受 等の改善が行はれた事は後受 迅速扱で大便利

へしとは考へられないとは考へられないとは考へらだが込も

特產在貨夥

月七日現在八十三萬十二

因心和年金金融六一九三番地新京永樂町三丁県二番地新京永樂町三丁県二番地東六一九三番地東六一九三番

・局を選定して 発情に適する 発情に適する

して居たが昨年末に於て全需要の約六

内國稅務行政 (E) M州國の—

法 最後に交通税に属するものに るのであつて、其の課税範圍 散社 付て申述べます は商和の契約を爲した場合に の實蹟を申上げますれば と がで官の定むる契約書に收入 田 賦 ヤニ三千圓 すい がであつて、登録税に似た税 の實蹟を申上げますれば と がで官の定むる契約書に收入 田 賦 ヤニ三千圓 すい が 付て申述べます と に がであつて、登録税に似た税 質量を申上げますれば と と がであつて、其の課税範圍 散社 最後に交通税に屬するものに るのであつて、其の課税範圍 散法 は し

で、三五千圓 から千圓 で、五〇千圓

佛政府が公布

(東京國通)佐藤駐佛大使より外務省への報告によれば、 の一次の特別の為替保證稅廢止 会及ひ韓腦の為替保證稅廢止 会及ひ韓腦の為替保證稅廢止 の三法令を十四日官報を以て 公布した △電既 共電 . 保管確實

祝町子自七四 博多屋

あんま 高橋療院 療院

東二條通り儲南渡る左至急御伺致します QQ シビルハ

新京市况

花咲人樹前篇 十四日より

隆 三 |

第三回

向 三三三三三三 仙 仙仙仙 二 仙 三五門鬼豐昌 高

電話二七三六番

性病 乾性下疳

婦人科外科

浦医院

八お吉

沙尿生殖器病

村田みね子、米津左喜子、 西條靜子、若水公子、宮島啓 大、高观俵室、外懸術座一黨 総出演 を、高观俵室、外懸術座一黨 を、高观俵室、外悪術座一黨 を、高の花の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる 大、高の花のであたる といかつて草の花のできた消

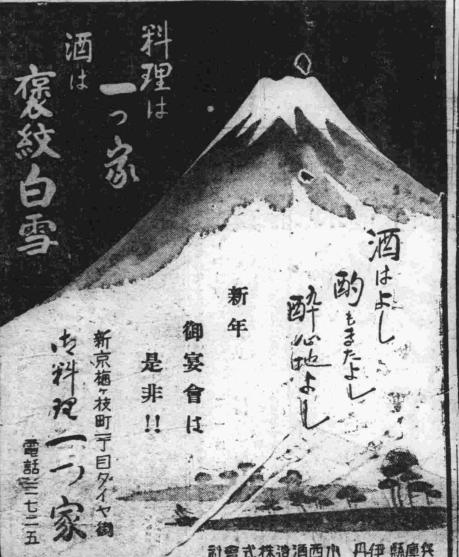
大天狗个

んまは

陽堂療院

高價買

新京キネマ





朝 頁二十共刊朝夕

電二九一三番

移動抑制 爲替管 の外なし

九日鈴木總裁及ひ町田民政總をへ午後零時二十五分會見を答へ午後零時二十五分會見を答った、因つて岡田首相は十

資本の

懇談

援助を求めり

引受けさせる方針であり消きいが競行法は依然日銀に 展を期待するから金融界も 化力にも現在通り圓滑な進 引受けさせる方針であり消

で成べた、これに對し鈴木總 を述べた、これに對し鈴木總 を述べた、これに對し鈴木總 を述べた、これに對し鈴木總 を述べた、これに對し鈴木總 を述べた、これに對し鈴木總 を述べた、これに對し鈴木總 ることゝなつた にしながら懇談、援助を求め

北鮮製紙會社

資本金二千萬圓で設立

に意見一致を見た、協定の要 言次の通り 、ドイツ政府はベルサイユ 條約第四十二條以下非武裝 條項をザール領域に適用す る事に同意する

歸平

設立計劃中のバルブ會社は愈 満洲材とを資源として襲ねて

で更に康徳二年六月三十日まら常局の布告が徹底せず豫期ら常局の不色の観点であるかったのの如き成績を收めなかったの

同申込は小荷物扱所へ赴内二四五番)にされ

目下銳意奧地省民手持ちの舊で一ケ年間回收期間を延期し

即

職中側に日本なるものを認 関印側に日本なるものを認 解決の方途を講ずるであら

同地酸特別可 北平軍事分

一九日

は歸任の途太 何應欽氏通為 を であったであったであった。 列し十六日午後

吉川商會 樣甲板 首相、鈴木總裁を

たので之等の材料を整理した 前より全部集るに至つた有線 ので之等の材料を整理した

板材

題はシテイーバンク等の外國組はシテイーバンク等の外國を開放しとされてゐる、只聞

異体案を練りつ」ある あららが之等に就ても適當な あららが之等に就ても適當な

蔣介石氏

外人記者團 と會見

【上海國通】當地滯在中の將介石氏は十六日段祺瑞氏訪問後フランス租界の自邸に落付き来訪の孔祥熈氏臭磯城氏その他の要人及ひ外人記者團を接見したが十七日飛行機で孔按見したが十七日飛行機で孔で、外人記者團との會見なった、外人記者團との會見なった。外人記者團との會見なった。外人記者團との會見なった。

模様で黄ン氏は多分十七日頃 るものであつた、 尚蔣介石氏 るため飛行機を北平に派した のであった。 尚蔣介石氏 茶

に依り入京す

茶道具と陶器類 二三話電

から御用の節は電話か 代理引取及配達

一、新元界釋發送手間物。小間物の意息の御利用願ひます 、高到着驛留小荷物代理引取及配達及代理託送

領歸 一装地帶問 屬後

帰國政府突如聯盟に要求 題

同地域を非武裝地帶となす間、六日聯盟に對しザール膵屬後、 版後は當然ヴェルサイュ係 のであるが、フランス をものであるが、フランス もものであるが、フランス は右非武装地帶となった。 題につき左の如き要求を提出 ものと見られる 型理事會が延期されたのはフ 型理事會が延期されたのはフ イッ瞬隔と同時に棄却さる 禁止が含まれるものである 禁止が含まれるものである 禁止が含まれるものである 禁止が含まれるものである を解する、從つて現在同地

府に移管する 以降三月一日迄にドイツ政以降三月一日迄にドイツ政

日八十月

非武裝問題で ענ 折衝坐礁 右妥協案は直ちにベルリンに

田民政總

務會長

昨年中既に工場敷地

後任總裁受諾理由

上げるに至つたが、十六日夜 をドイッ政府に移管すること 要請す彼の籐屬問題は俄然暗礁に乗 結果三月一日迄にザール領域 以場合非武裝問題に闘連しザール領 委員長の斡旋で協議を遂げた 二月十【ジュネーヴ十六日發國通】 佛獨兩國專門委員がアロイジ 通貨、 語するものと観られるがドイッ側委員はザール領域に於ける軍用鐡道其他軍用交通機關の要求には俄に應じ得ないとの互場を執つて居り其他炭漿 一九分子 一月十五日迄に意見一致を見る場合は更に理事會の介入を

兩黨首招待會 田首相の

B

總務會長及ひ安總國同總裁のの如く十七日正午町田民政黨(東京國通)岡田官相は豫定 を催し種々懇談を重ね議會に を催し種々懇談を重ね議會に 求めるところあつた

都合上斷つた

又招かれたら行く

鈴木總裁の意向

意見を披瀝し重要懇談を重ね 関印側が日本をよく認識せ 會 一般の批評に任せるが常初 今 一般の批評に任せるが常初 今 一般の批評に任せるが常初 今 で

が動士七日招待を拒絶したの 相よりの會見申込に應するは 間られるが、政友では岡田首 では のかが、政友では 岡田首

高の都合に基くものである

英國產業聯

盟

日滿視察團報告

(下)

第一次 は英國産業に對し相當大なるは英國産業に對したり、斯くして観察側は海洲國営局者に関したり、斯くして観察側は海洲國営局者に関したり、斯くして観察側に、新のしたり、斯くして観察側に対したり、斯くして観察側に対した。

を製造を及ぼす或る特殊の問題に就き正確なる日象を得る場合を関い、此等の點に歸する吾々なり、此等の點に歸する吾々なり、此等の點に歸する吾々なり、此等の點に歸する吾々なり、經濟的地位、近代的級と、南滿洲鐵道會社の活動範と、自己の後後、

れつつあり由之親是滿 水、衛生、病院、醫術 でられ又該計劃は着々 てられ又該計劃は着々 であれる計

Mの担懐受諾しやうとの 相待申込をするならば徳 明日、明後日以外日を改

出席、政府首脳部と陽意なき 正午岡田首相の招待午餐會に 正年岡田首相の招待午餐會に

にありしも特にその 関の一般經濟狀況を調査する

を遂げたが、職大臣は

は今後我園の實業家が從事す は今後我園の實業家が從事す

蔵相ご會見

於ける旅行中出來得る限り同

可能性があるか否かを確めん とするにありしところ吾々は とを確信するに至れり吾々は この確信に對する理由は之を 本報告附鉄二に於て述ぶべし

管の文書を取付けたり、 と提携するの原則を確認する と提携するの原則を確認する

究せられつつあるところ價格

具体的

製案は目下減洲

きは一九三五年中日本及職

十七日官邸で開催 原因は、一つには黨内の惡望 原因は、一つには黨内の惡望

たんとする空氣が濃厚となった

関リカの潜貨棉處分案につき協 世界全體の棉花過剰對策に開 して國際的協定の可能性無き やにつき研究が進められたも ので、その世界的統制計畫と いふのは現行の國際小麥減達

カすること 空幅的な 回 経済界は 政

府の施政と相俟

教をなすやり指令を發した は各縣出張所に對し徹底的回 は各縣出張所に對し徹底的回

復を見て居るが

れども公債により告 を創設して負擔の場 ると共に載入補収の

底回收指令 中銀奥地へ徹

方針で一切の對議會作戰を樹

對總選舉準備が整

つたか

金

醫春月 ,隨院入 四二六話電

三三二 八八八 二二三三 三二四 三二四 三二四 三二四 三二四 三二四 三二四 番番番

務會長が總裁受諾を决意し、東京國通」民政黨の町田 領は十五日政府育腦部とア 棉處分案日發國通米の滞貨トンナス

努力が肝要だ

到外貿易 努力が肝要 を

エクアド

ルの暴撃

阪衛船株式會社)非電品

68 C

割課稅

ぬので不断の

わが商品に

を求める筈である、 十八日の閣議に附議して承認 を十六日の省議で決定したが劈頭の厳相の財政演説の草稿 【東京國通】大職省では職會

休會明の藏相演説要旨 災害教養に對しても相常決 **農收入等自然増收あつたけ** 解**濟界の好轉に依り租税官** 算を計上したし、歳入では

道を辿つて 部に十側の闘残微牧の酸令をエクアドルでは最近日本品全より外務省蓄電に依れば南米

一放され運用良しを享け軍閥の苛

御最御のの

知りたい▼ たぶこので に があるか、

たの僕にはる旅れる土地による。

あり幾多の困難

が が が が が が が は に 横は

新國家

あるか、まづ以てそれを総裁に如何なる抱負と響いこの政策非常時に際いこの政策非常時に際いいている。 ●廣告の御用は電三三○○番へ● 人拿秘密探偵 管理企業調查 **貸借整理代行** 経濟事情内報 核談先身元調查 取引先信用調查

> 九州、警禁所 大阪警蒙所

> > 大阪市北偏中人のエノー四

東京市丸ノ内ニ丁

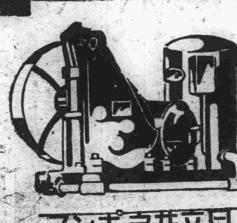












の際は左記の幹約店の幹約店

枕關支所設置要望 、新京、哈市に

(=)

國教府に陳倩する事となつた ・ 一本の理事會で協議の結 ・ 一本の理事を変した。 ・ 一本ので、 ・ 一本ので ・ 一本ので、 ・ 一本ので

管角これが設置實現の曉は安 ・ と依頼して極力實現を期する ・ を依頼して極力實現を期する ・ を依頼して極力實現を期する ・ となる ・ となる

朝鮮貿易協會理事會の協議

に就い 家賃間

て題

の貼り札を散見するやうだがもこの頃そここゝに貸家賃間

り夫々の税則に依り從價百分の三〇乃至百分の三〇乃至百分の三五を 微耿す 右は恐らく豆油に對する從來 の税率より引下げ改正を行つたもので(右は從來の税率三 〇パーセント)好影響を齎す

二記錄公認 本水上競技

手分の四乃至其以上を含む ものは普通豆油と見做し從 價百分の一五を微收す 一、輸入豆油にして含有酸分 千分の四以下のものは精製 豆油と見做し散積するか鑑 【東京國通】國際水上競技聯盟 は強ねて日本水上競技聯盟 別は強ねて日本水上競技聯盟 十二分四十一秒入

軍備豫算增大の懸念を一蹴

ること若し起つても英米とは建騰競争必ずしも起らざに建騰競争必ずしも起らざい無係的状態で関防費は膨

÷

和されそうにもない、それでおこの新京の人浪では電分級がこの新京の人浪では電分級がったが出来あがつたが、

無條約狀態對策と

海軍側の意向

日本品防遏に

ること」なる模様である は東京関連】世界的に日本商 の不當なる輸入組止には公布 の不當なる輸入組止には公布 の不當なる輸入組止には公布 の不當なる輸入組止には公布 の不當なる輸入組止には公布 の不當なる輸入組止には公布 外務省擁護法發動 て来た満洲需壇は今年も更に が愈よ懸案だつた二科會が實 現するらしい複様である多分 陽春四月頃大連で開催する段 取りになるだろうと消息通は

れるが審算常局の意向は左の一、無合で質問があるものと観らる。 の際への動物問題は第六十七 特殊の際への動物問題は第六十七 特殊の際への動物問題は第六十七 特殊の際への動物を表現しません。

特殊軍備に充分の自信があ國情地理的條件に適應する

競争が起るとしても日本の 競争が起るとしても日本の を、繁節が脱騰でも英米の園 に超らぬのみならず且起ら なやら努力する、若し萬一 である。

治安維持討匪行の

義倉

平糶會の

滿洲國軍近况回

改善活用斷行

洲 辭令 母胤

萩原 四郎 夏目 忠雄 伊藤 孝仁 給 國 務 路 四 級 俸

佐々木治平 三ヶ島 篤

緒方 覺資

總務廳事務官

総務廳事務官

禰洲國政府の農村救濟對策

等の具體策を決定した の事態で再駆會なる自治機 の事態で再駆會なる自治機 **帆足方洲**男 尾 秀 直

部健康證明付

森林事務所技士 森林事務所技士

上海海關告示 豆油輸入税を 出するもの。尠くない

全人口の七割を占める最民の 救濟問題に就ては滿洲國建國 以來泰耕貸穀、特隆資金の貸 一、各縣に常設の売策を實施しつ」 一、各縣に常設の売策を實施しつ」 一、各縣に常設の養倉を改善 し從來ともすれば地方機關 の任意により養倉本來の目 的外に洗用し、本年の如き の作意により養倉本來の目 的外に洗用し、本年の如き となきやう方策を

宋氏の渡米

特定商人をし

遂に取り止め

上海銀行團反對で

取止めとなった

外震に對する國境封鎖の爲一、輸入散積豆油にして酸分類安省北雙備軍は舊臘以來一樣である

温會とは?

(四)

信じております

自彊會員がシャペルを握り

一自彊會員ご語る

第五軍管區及與安各警備

(大連國通)上海總領事館よ 上海税關は去る一月十日附を 以て輸入豆油に對し左の通り 分類徴税するやう告示した模 探である

になつた、即ち縣長を中心と計画し、凶作に備へる事を活用し、凶作に備へる事を活用し、凶作に備へる事

宝地に達した情報によれば南 ため米関から借款することに とゝなつたが、宋氏の渡米は とゝなつたが、宋氏の渡米は

二科會紹介

四月大連で

(ロ) 又密山、虎林地方に駐車に第三車管區より派遣の歩に第三車管區より派遣の歩に第三車管區より派遣の歩に第三車管區より派遣の歩に第三車管區より派遣の歩に第三車管區より派遣の歩

一部及関境方面に配置し警点、一部及関境方面に配置し警点、一部及関境就中軍春東寧密山虎部関境就中軍春東寧密山虎部関境就中軍春東寧密山虎中、大方面にして匪賊は昨秋以來の長期討伐に極度に困憊し小集團に分散し時間に臨し、

取締るための公定價格を制等る一種の防穀令及び暴利をて穀物の縣外逃避を防止する一種の防穀令及び暴利を

之が躊順に努めてゐる

任司法部参事官敘惠任三等 牧野 威夫 給十級 森林事務所技士 森林事務所技士

昨年來ますます新鮮味を加へ 任檢察官敘應任四等

一百三

性把持者は勤勞を冒とする 思ひまず ませんからこの機能に於てなないに強調し、是正され度い ませんからこの機能に於て

٤

喜んで國家百年の捨石たるの 管悟を養成されつゝあります 着し私達を目し私達を指し被 等はルンペンなりと誹謗する ものがあるとすれば銭拳を加 へてその豪を啓かす丈けの氣 に於て各種の架を與し會員の外部 と 消化力を迅速嵌大ならしむる と 消化力を迅速嵌大ならしむる

い、ルンベンの字義に就てはン性把持者は勤勞を冒とする

清洲を我物額或し常に歯の 下の公道を横行し一と康の 志士國士を以て任じつゝ一と 度ひその集窟に入らんか他人 の物質生活を脅威し、その憐 個的恩惠に甘んじて得々とし てゐる様な鼠輩と日を同じう

といふ事を

千四萬

を成じます、私達は石に額を 見合せて慎ましく微笑を交します、そして寒氣でも何物で い。信念の下に最早やその恒久 い。信念の下に最早やその恒久 した私端全會員は互に結束して凡ての離腸を突破し、鷺々 たる世評も今は全く沈默に復 し驚異の中に彼等の感謝と讃々 ました

胎とし、祖國を主体とし、祖國 愛の天使となり、其上に自己 といふものを再建するのです 年晨たまり、思ひ更らに無 量のものがあります、希くは 向後共協調自戒して會の使命 に忠實であり「一人の日本人 あるところ必す一個の日本國 あり」との會のテーゼの下に 再ひ吼気ろ自獵會と絶叫せず には居られません」と彼は異 なな、再會を約して袂を別つ を なることをマザマザと体験し のなことをマザマザと体験し のなことをマザマザと体験し **給四級俸** 任稅務監

給三級俸(各通) 満洲事變の

立法院秘書廳秘書長
立法院秘書廳秘書長
劉恩格
劉恩格

忠靈塔合祀者名

D

借りするとして家賃四十個と すればスチーム、瓦斯、水道 電氣等を加算して五十幾個と なり小市民階級に於ては容易 ならぬ負擔で一大 脅 威であ ならぬ負擔で一大 脅 威であ の有様では人倫も体裁も衛生 かても云ひ分はある 如何に從順な店子連も隱忍は 强弩一度弦を離れては 由々しき大問題であ

任司法部事務官敘應任七等 任司法部事務官敘應任七等 村岡心右震中族屬官叙委任 一等 科爾心右震中族屬官叙委任 一等 科爾心右震中族屬官叙委任 一等 一年 東正蒙政部屬官叙委任二等 三好 章正 任專賣公署技士敘委任二等 外交部宣化司長

か

会通部路政司長 外交部北礦特派員公署特派 員 施 履 本 給一級俸 總務廳事務官 總務廳事務官 幸雄 理局長 岐部 興平 森田 成之

江省辰山鰥囑託江井忠(稲) 曹山本曉(山口)▲同航任曹山本曉(山口)▲同航任曹山本曉(山口)▲同航任曹山本曉(山口)★同航任曹山本曉(山口)

二宅牧場 小田切政孝

本紙愛讀者の御家庭に御獎め致します。似品に敷倍する事を認め茲に本品を極力化の子東子の耐久力は實験の結果他の類 紙愛讀者に 新京日日新聞

坂本 信治

鰺 坂 積

西尾商店

だ大型もあり

金委任三等 使夫

新綿も各種豐富に取揃へてあり ▼受渡貫目は正しい のお手 は迅速

ず研究を怠らず、よい創業以來二十二年絶え 使ひよくて 指定願ひます。 傑工手が、使ふ方のBの行属いた工場で、B 永くもつ理由は 料材料を用ひ、整 通開話電 カコタののバ そは彼の有てる 唯一の資玉です 飛白無垢の歯!

初心者の方を 新年宴會は ブ(一九三四年度) 歌迎致します!!

たら伏、性トーでは あまりに虫のよいボロイ話で はあるまいか、半面不自然極 てその上家屋敷は立派にロ乃至二年の内には元利を拂 瓦斯熔接、鐵工火造、建築金具 機 東三條通六十番地 並製 理

長春鐵工所

宏

運動具店

(道路舗裝完成) 閣

街七 0 圓 號 入浴隨意誠實低康永滯在 新築落成煖房諸設備完備 の方は最適

匪賊團 ご遭遇

【敦化】十二日午后九時敦化 は身に六穀の敵彈をうけつ」 「大警士が黄泥河子分所影響長以 も懸命に格闘最后まで拳銃を 下大警士が黄泥河子飲食店聚 手雕さず遠にこときれた、急 樂堂を臨檢分所に引揚途中約 報に接した我が〇〇〇〇分遣 樂堂を臨檢分所に引揚途中約 報に接した我が〇〇〇〇分遣 中たほし尚ほ追跡中、影響長 後貴方を考究中である でたほし尚ほ追跡中、影響長 後貴方を考究中である は左足母指に貫通銃創(輕傷 尚ほ前肥匪賊はその死体によ つを負ひ、同行の王警長も左 つて占河龍(匪首)及ひ二代 下腿部に貫通銃創を負ふた尚 目三省(匪首)ー他は姓名不 ではそのとき拉致された姚警士 初一なることが判断した

に吉林國通】十五日省城より 東北十五藤里の密林中に於て 東北十五藤里の密林中に於て で買收されたが、右の巨熊は 一見大牛程あり一千五百五斤 といふ体策で全身に十五個所

のため来満することになつた のおことを領事分館警察署で 笑き止めこれを取押へ樺太ឈ に身柄引取のため打電すると ころあつた、樺太ឈ警察部よ りは近く刑事二名が身柄引取 のため来満することになつた 敦化の警戒

(敦化)敦化縣公署警務局で 場官は管下各署を督勵警備に 選官は管下各署を督勵警備に 選官は管下各署を督勵警備に 選官は管下各署を督勵警備に

限線のもとに、個人的に営業し を操究してみるに、全部生活 を操究してみるに、全部生活 を操究してみるに、全部生活

5

名

たします

を禁襲當局の取締方針も弾胚をよると、常安行政上、之を保護し氣毒な態態にある彼女等を生活の擁護、地位の向上をの生活の擁護、地位の向上をの生活の擁護、地位の向上をの生活の擁護、地位の向上をのまで経つても不が、之ではいつまで経つても不が、之ではいつまで終っては營築を許可してみたが、之ではかつまで終っては營築を許可してみたが、とでは、無制限に大ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ないので、今後は出来ない。

新京西公園前

学高荷着!

かれれる加盟店

辯護士驅於難引地寅治郎

電話三〇九二番

日本軍需品商會

帰断三八八八、五六四〇年

外科、性病科同仁醫院

電話二六〇六番

診療時間●

柑橘、青果委託賣買

O

特約店

福田支店

日曜祭日午前中自午前中

概監を代へて 之を 衛生 方面 から考察する時、今日までは 全く放任狀態で、市民衛生の立場から言へば慄然たらざるを得ない非衛生的狀態にあるこのまゝ放置しておくことは 幾多の弊害を譲す怖れがある

のため基礎的資料の蒐集を始 のため基礎的資料の蒐集を始

及ぶ妓女の検徴を實施することは一朝一夕の努力では到底 行ひ難いので、未だ具体的活 がは開始してゐない、いづれ が、將來には檢鐵側の實施と

参加者は敦化支局(電一三八)に前日為に申込會費金二國(夕食提供) 合同新年圍碁大會 ந……敦化東門内スズラン食堂

時…… 一月廿六日午後一時開會







清楚 どりざりに

クラブの花

クラブはき自物の十二色から 35年の新春ひらく……



化第五署員 姚警士遂に戰死す 滿 吉林東北で 上熊を逮

体重

一千五百余斤

愈々擴張され 3

百萬坪を三百二十萬坪に り見て縦師の織砲など歯が立 今回も之を捕獲する迄には数 追ひ廻し幸に弾丸が急所に命 中し斃れたものであるが避に 中し終れたものであるが避に

大躍進を期待される事となつ たが、鐶西工業地帶の擴張充 す調査研究機關たる工業試験 場設立要望の繋が工業者間に 漸水謹頭、近く設立促進運動

ものは、右三千名中値に四、とは既報の如くであるが故館ととは既報の如くであるが故館ととての門戶を張り捜主 放館としての門戶を張り捜主 ルビン便り

く磐石及烟筒山の守備隊に 順を申込む者踵を接する有様 「解除の上層豊さす可く原籍地 へ送還中である

過們清津間 歸り 可能

「岡門國通」 従来 岡門縣午前 五時發清津行第一四列車は 岡門、南陽間の旅客及ひ貨物と を取扱はなかつたものだが、 新春と共に改正し右區間の旅客及ひ貨物と を並に貨物取扱を開始し、十一日より實施した、これによると営地と清津港間の日歸り
あると営地と清津港間の日歸り
可能となり關係地方民に非常
な便利を與へることとなつた 本年より鐵道時刻改正 であり一戸當り六人牛となる

本 可能となり關係地方民に非常 【延吉國通】樺太の森林疑試 壁 本件は當時樺太泊居林務署の 度から五年にかけて樺太に於 の表演發生數は合計九十九名 へ (三六)が姿をくらましたた 象病發生數は合計九十九名 へ (三六)が姿をくらましたた の り 患者二十七名、死亡二名の 中止の形であつたが去る五日 を り 患者二十七名、死亡二名の 中止の形であつたが去る五日 を の か し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の し の し の し の の し の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の し の の し の の し の で捕はる 小山內延吉

續々歸順を申込む

敦化地區の 三、工作指導質の はて 実他一般有力者を目標とし保 甲制度の目的意義及之が實施 の要領を了解せしめ工作實施 の要領を了解せしめ工作實施 に於ける協力を强調す、尚一 に於ける協力を強調す、尚一

薬購買規程、民間許可銃の保管檢査火

管檢查同回收に

田野東然防止並戸口兵器の酸重 調査縣内自衛團の内容検討改 主ざ並せて通信網の整備を貸 大べく前提出の計畫案に就き が、方の作業困難なると吟麗に凍結 地に入り作業困難なると吟麗に凍結 が、戶口調査 特に國家觀念及日本倫據の精神を注入せり。
一月初旬敦化に於て數日間の保甲長會議を開催すべく準備中なり。

に低る工作終了地點は附崎第一面して工作開始以來重要項目

治安一般の狀

虎嶺方面の工作指導を實施せ 数化縣西南方地區に引續き 蔵 本期間工作班並工作指導班は 本期間工作班が出版に引續き 蔵

合せしの戸口調査並に保甲 般民衆學校生徒を小學校に

集團部落地帶とを展別し前者を開門部落地帯とを展別し前者を開催により腰賊地帯とを展別し前者を開発した。

國部落を建設すべく準備中地帶に居住するものを集め集

べく本年中より諸材料を準備明年解氷と同時に之を建設す

ロ、保甲の整理 保甲法の確立に就ては保甲法 の如く人口稠密し舞湾比較的 中となしあるも其他は保甲費 用負擔率及從來村落相互の利 書關係を考慮參酌し三十牌を 以て一甲となしあるも其他は保甲費

り調査の正確を期し概ね強期 の通り進捗しあり、目下秋梨 が出地で除き縣下大部分を 終了す

雷の人口の増加しあるを見た不備の爲本期の調査に於て相

民間兵器の保

七、自治制度の確

(別形・一個州五錢)

アヘン、モヒ ヘロイン中毒 ** STATE STA

病、痔疾科 科、小兒科

揮發油 油

專一門

土井石油株式會社~

SANCONICO XXX O XX

●代診生並に看護婦入用●

北滿代理店茶

陸海軍鐵道省指定工場

御存知ですか

動物の速力!

昆虫は砲弾より速い

て前九時より正午、簿記へ 「學部」三月十二日(火) 「學部」三月十二日(火)

(木)同時刻論文(商業、經英、佛、獨內一語)十四日英、佛、獨內一語)十四日

ᇤ 文學の能動的指導性 対勢 ân 開東

數學(代數、算術)定點百 (作文は文語体毛筆)二十 日(水)午前九時より正午 語、漢文、定點百五十點、

日より同二十三日、豫科一月二十八日より二月十三日 専門部養成所二月四日より 同二十日までなほ豫、專二都の受験は例年通り酸禁されてゐる

能動性を主張してゐる、其の文學的リペラリズムを唱へ、創作的無力さの克服のために

犯しつ」も、ブルジョアジレてゐるので、基本的誤謬 類の向上の

にとつては、アイドルでもあいた直鉄、金力、實種を験は、大の重役にもどれて神様扱いからキリまで色々ある。 まントの重役にもどれて神様扱いからキリまで色々ある。 ホントの重役らしい威酸、ホントの重役らしい威酸、カントの重役らしい威酸、カントの重役がある。 大低は中役どころで

世間ではどれもこれも重役 と云へば華族の次に偉い者位 なかなかどうしてピイピイし てゐる軍役が少くない

とは云へない。まだ酒と女に徹 宴會へ行くと、その席上で 聴者や練妓にチャホヤもては やされてゐる人がある 、またおもしろいで一つ宴會から軍役を

ります、競爭鳩の速力は、英のます、競爭鳩の速力は、英 ウたが、その時は追風であつ ・時間五十マイルの速力であ が表示し、鴨は四マイル間を は四マイル間を

成る平滑な砂地でも

車や飛行機を用ひてその速

行機を用ひてその速力

時間三十マ

の世界 のニマイル間は一時間三十八に鈍り、狼の親頸筋のグレイに

ハマイルに渡へ、長距離にお た鳥類に對する

の試験ではアメ

は、山犬は最初のニマイル半りまじめに研究されてゐませりましたが、その成績によれらまであるとは非 ら自動車に乗つて速度計や示の速力を正確に計ることは非 ら自動車に乗つて速度計や示したが、その成績によれ

十五マイルを持續しました、 長距離に至つて平均一時間三 長の間に至って平均一時間三 が続しました、 鰡の羽ばたきはまた實に一秒たるものですが、このときのときの

本史の選擇に變更された、募 集人員及ひ試驗要項左の如し 、募集人員 県部約百名、 等集人員 県部約百名、 第一、募集人員 県部約百名、

東京商大

が執拗にこひりつくであらうが 教物にこひりつくであらうが 被をしてヴッコの渡しに迄 愛媛させる事は現在インテリー に取扱ぶかの問題としてプロールタリア作家の考慮が絶對に

たのは先づ酒から女と云ふ順たのは先づ酒から女と云ふ順を等の趣味は家から骨董へ進化轉變する

が、大方このカテゴリーにはが、大方このカテゴリーには 見ると、またおもして

もある 御前標扱ひにされてゐるもの

は、 か明の一つ位歌つて、裸をどい明の一つ位歌つて、裸をどい明の一つ位歌つて、裸をどい するやうなお客だが、こいつ を地位とでいくらも我がまった地位とでいくらも我がまった地位とでいくらも我がまった。 最後女はうたち、最後女はうたち、最後女はう

るやうである

リチビリと盃をなめながら、 で、大してもてもせず、大し で、チビーではかりだ。 で、大してもてもせず、大し

同様に重役のスタンド、

で若いところで重役になつ 異にしてゐるやうである 異にしてゐるやうである

だから重役と云ふ重役諸君がみんなこの穏健にして着質がみんなこの穏健にして着質を充る道樂、家と骨重あたりでをつかいった、大事まちがひなく行くだらうが、そこはそれ、思ふ様に行かぬのが他の常だ大体にの如上の道樂、何れも金ばかりいつて、中中可な事後に行かぬのが他の常だなが皆と云ふわけではない、だから、重役では出來ない、だから、重役もオモ重の方で、中役風がでは仲々そこまでゆかぬ

袋上的物

を離むるのに貧野がられてるを離むるのに貧野がられてる

落ちる憂へがあるところからと從來の棺では重すぎて床が 製作されたものである

一一旦頭の對立
の財立なんか無いと否認する
のは間違であらうが、さりと
ディスイルスキーの態度が冷
がといふのも間違つてるよう、リトピノフ勢力は大いに
増したが、マヌイルスキーの

ロがる 六 00

期も 巣が近接してゐる蜜蜂と 理んでおいて蜜蜂には一見し で分るやうにおしろいをから にかるからにおしろいをから 開於總工會 (滿語) 七 8 〇 ニュース 〇 関民の時間 〇 関民の時間 〇 関民の時間 大總工會會長、大總工會會長

約三十フイトを突進します、 以上を飛ぶことができるし、

0.00

山崎齒科

中央通西公園前

の ままり の 三番

療

時

間

=午後六時

雄の 蠶蛾は一日に 百マイル は全部その巣に闢着しました

九氣八











寫眞 電話 二二一二番 證據なら

老話なとれる者

五十點、午後一時より二時(永保十一年より明治四十五年まで)二十二日(金)午前九時より正午英語、定點二百點(解釋、作文、聽出一百點(解釋、作文、聽出一百點(解釋、作文、聽出一百點(解釋、作文、聽出一百點(解釋、作文、聽出一百點(解釋、作文、聽出一百點(解釋、作文、聽出一百數(解釋、作文、聽出一百數(解釋、作文、聽出一百數(解釋) こんなんが返って、酒や女 こんなんが返って、酒や女 にこれなんだ 大家ぶつたりする奴は、金 大家ぶつたりする奴は、金 はこれなんだ てあるものもある てあるものもある にも三つのカテゴリーがある

Bクラスーこれは、酒っる男のことだ。 実席が賑かった。 のまのことだ。 Aクラスのお客、之は宴會 大体三つのカテゴリーがある 宴席が賑かにな ただカヤガヤ騒くだけで座 持の女とおとなしくつて、こ の女なら姿にして安心と云ふ 女といゝ襲者だが、素行がお さまらぬと云ふ女があるわけ で、實業家から云へば、酒と 女にその道樂をみつける人は のクラスに屬し、家と骨童組 女にその道樂をみつけ の實業家はハクラスに わけだ 海小沙沙

二人ともだった。

連

変

の

の錚々

P必要なんだから二人 にある「スターリンは にあるが家舗は大の様

迅速叮嚀

電話五三四六番

對の事で

難である、モスコー

疊

龜岡疊店

尾上町五丁

の、マヌイルスキー はモスコーでは周知 球骨を刺す様に攻撃

表替裏替

ラ

んがついてるて然も二なが最近米國では『錐

にやんやと

コは子供によろこば

御寫眞の御用は

田

Bクラスーこれは、酒もあまり飲ます、又別に藝があるわけでなく、だと云つて、酒がいらけでなく、だと云つて、酒がいらけでなく、年輩も相が、面白くもないが、こんな人は女から見ると、質直まじめな人で、こよなくたかり甲斐のある人、さぞかしお宅でも奥さんや、御子さん衆をかはいがられることだらう……世話になるなら、こんな人 自殺の 対条 今度フランスで自殺の競手が 考案された、歐洲大戦の職場であつたフランスのサントメー在のマトンといふ老人は大 職時代から片付けられずに残 つてゐる大砲の弾に跨つて用意の金鎚で雷管を力一杯擲り付けて自殺したのである、不景氣で自殺狂の多い彼地では目下警官が彈丸整理に忙殺されてゐる 喜ばれてる。 恵はれてるる。 れてるる。 れてるる。

妈時の外傷 低能は分

おらず、家庭の平和をおひやかすと云ふこともないが、酒 と女組の重役諮君と、鵬章、 と女組の重役諮君と、鵬章、

爵位組の諸君はこの御法度に

の世話になつて氣樂に生活し 那客だ こう見られる 旦

、一寸にがみ走つて

東役の道樂は先づ前にあげ だれ、罪のないのは、第二の ばん、罪のないのは、第二の

酒ピ女

カに低能見となるものであり エドガードル博士は分娩時に 産見の身体がよぢれたり曲つ 産見の身体がよぢれたり曲つ この點を注意すれば精神的に も肉體的にも不具者は少くす ることが出來ると發表し、彼 地のお主婦さん莲に警告して ある

四〇東京及一

腹痛タミ

大學自藥本館 松廠 参天堂株式會社

日本橋通り二五

加藤洋行

電話二〇三二番

輕金屬と

九、三〇 經濟市况 九、四〇 經濟市况 (大連より) 1〇、二〇 料理獻立 (本天より) 1〇、二〇 經濟市况 (東京より) 1〇、五九 時 報 (東京より)

治っ

72

捅

0

か

痛等の痛みに一

1111

効いた證據です

電

話

3

九九

古

「側苦勞さんに存じます。さアど

后人

半試吸

效

用

?吸

面三十個

货

0

今

田

商店

すべいつくばつて、

い。える、如何でどざいます、脚体息して行こう』

選卒の眼は、ぎろりと光りを放 たものでございます』

「何處に寝て居る? そいつは」

休息して行とう」

これは岸本の旦那様、今時分好 第つ く 春(二)

(四十九)

鉄道上海

秀

女

羅門

(五)

と、設み下して・

マラて來た――と申して、宿をと と三時を打つてから、聞もなく市。 と三時を打つてから、聞もなく市。 と三時を打つてから、聞もなく市。

会院に培諭する事によって歌ば 展示ない。 は歌歌歌とや際を訴 *記憶力思考力減退し頭職朦朧

文 ′煽 呈進代無

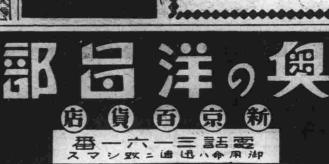
研究所

今宵は是明の清元を 料亭 嬉 ニューニー サード 中間に 神野 へ ニュー・ コート 中間 に 神野 へ ニュー・ コート 中間 に 神野 中国 中国 トロート ー トロート トロート トロート ー トロート ー

MOXEMOXX OXXX OXX 一目丁三町樂永京新

春 新 3 柄 ŧ 着 LJ 荷

0) 皆様のお店として御鳥魔ください 特斯 許案 輕 快 416 批 0 子 守



電話 四七九〇番





僧でなんが、既然では、此の職所をおいるとは、といるのでは、からなどをといるのは、一時のでは、からなどを発生を経過が、ののでは、からなどを発生を発生を持たが、ののでは、からは、ないののでは、からは、ないののでは、からは、ないののでは、からは、ないののでは、からは、ないのでは、ないののでは、からなどを発した。といるのでは、からなどを表しませる。といるのでは、ないのでは、からなど、ないのでは、な

でですが、日本のでは、10年のでは、10年ですが、日本のでは、10年の

胃腸を丈夫にする

新頭痛劑

0

發明

受験學生・執勢家・頭痛持――試みられよ

を振興的に治験に導くのを本來のません、のみならず 製造としますが数に、電気性にな

◇…二日幣、飲み過ぎで氣分の融

朝日

領川

ニー(とどろき前

源

ポース を選挙情報として開業ひない概を ・ 実能をもつ要 ・ 実能をもつ要 ・ 変能をもの要 ・ 変能をもの要 ・ 変形をもの要 ・ ののであります 常者頭痛持ちが頭痛薬を選ぶ場合 ◇胃腸に脱作用なく進んで胃腸

責任を以つて推奨出來る!!

(容器一銭度、五銭度編入3)

額物性顫射岩城

セメ

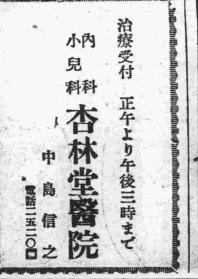
代新理京店總

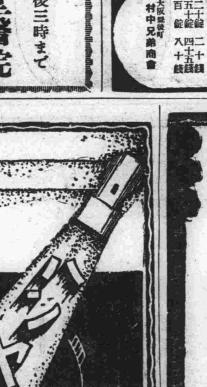
司

カペ塗料カセインの特價提供●

O 版版 北澤裝版所 I

治療受付 兒 科科





度家織家建 取 量庭土建用 取 後用農具金用 各金用金用物 種物具物物 貨物店 其他荒物 0 三笠町二丁 御用 は 式 何でも

廣告の御

用は

市三三〇〇番へ

揃ふ店 類類物式類

でを見ると、一翻原上に、臓の風があってい、 があってい、一翻原上に、臓の風があってい、 りますその男の背負つて誇りましたの、「非監視の農」と致してあるの、「非監視の農」と致してあ 志秀雄

に二度か三度、巡廻してしるのが とこまか三度、 巡過を は、 との過を 月

貧弱な三河木総

夫は、へいつくはつて、



X exxx exxx exxx exxx exxx exxx x 炭油 酒 米

興公 お京永樂町一丁目五番地

AXOX @XXX @XXX @XXX @XXX @XXX 建築用白煉瓦





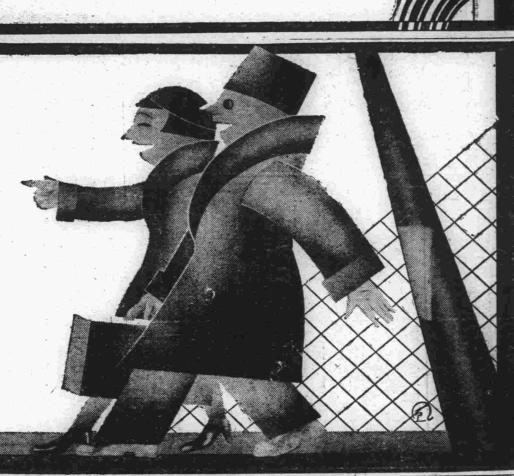




電話長示の番



严是



菊正宗

五四五七番









番八名品宝話電









難歌い鍋もの

權酒 界 威の 黑松白麻

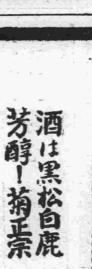




牛肉すき焼

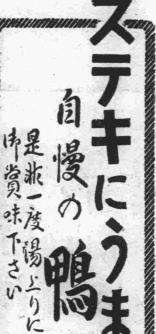






料理がうまり、酒も良いり

割憲 新京ホテル隣 電話六六〇一番



新京名物 ふべちり 鲷 奉書あべ f

歩きる事と 朝うり 出来さん



特別奉他一公典的人前 新年宴會は 大好評 五十名様まで

開揚載を禁じ鋭意取調べ中であつたが十八日解禁された 泉支行員劉耀先、同鄭乃琦廟名の行金拐帶事件に關し當局では事件發生と同時に新泉支行員の耀先、同鄭乃琦廟名の行金拐帶事件に關し當局では事件發生と同時に新

十昭昭

かやうな大事件は

他に届出でたので當局では俄 を は直に同地憲兵隊及ひ緊警察 は直に同地憲兵隊及ひ緊警察 は直に同地憲兵隊及ひ緊警察 は直に同地憲兵隊及ひ緊警察

朝七時頃拐帶逃走したもので、いて連累者を一網打盡に逮捕の調と稱し同行に預け、翌十八日 街の劉の自宅を襲ひ逮捕し續 列車で出酸するまで預かつ

を支行宛、四十萬圓現邊した を融通を依頼したことなしの 変電に接し始めて詐取された ことが判明、届出たので當局 の活動となり同

型するやらな事は好ましい 関するやらな事は好ましい。 関するやらな事はが 関でない、僕としては日満 でない、僕としては日満 でない、僕としては日満 でない、僕としては日満 でない、僕としては日満

大連聖德街

十七日正午は憩。午後一時中 四名殺に大連嗣通」瞬酸堂の公判は に至り 檢察官死 刑を求刑

害の凄滄な場合を手に凶行當夜に於ける一家

のところはきまつて居ないで、ころはきないとうかその製があれた。これはいいできないとの関があれていいできない。

も同番組に編入し特別封切る製作中だつた『噫乃木將軍』

- 員であるので藤野秀夫の乃ソノールを銘打つ浪曲トーキソノールを銘打つ浪曲トーキ ソノールを銘打つ良由トートこの映画は松竹キネマがシネ

で投棄を行ふことゝなつて 全然見込がない機様であるで現高女で學練骨の形 校からの轉入學は今のところとといして握くとも昭和十二年 百名多く約二百五十名が募集しれてゐるが新學期における他 れてゐるが新學期における他 れてゐるが新學期における他 ならして握くとも昭和十二年 百名多く約二百五十名が募集

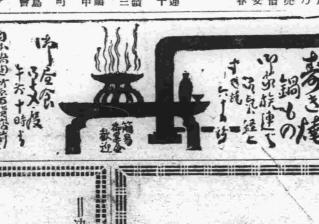
田中末治氏令息 銀あべ

具重品取扱に

瞬員を指定

新鐵事務所の試み





後田田のの奈

骨 董品 破格賣出

▼ 賓 石 品 ます何卒店内御一覧下さいませ

贈物、內地土產最適品

電話(呼)二人三重

百貨廉賣場 九 新

電話ニ九二五・二九六七新京老松町二丁目天野商店内

議は南軍司令官及ひ長幽闘軍 「神田では京十一日頃暦連の 一日頃暦連の 一日頃暦連の 一日頃暦連の 一日頃暦連の 一日頃暦連の 一日頃暦連の

遊興費に

七日暇乞挨拶に各方面を懸訪れて田町乞挨拶に各方面を懸訪れている。 挨拶の爲來社

車で出酸赴任の途に上る

妥協調停ではな

會見の斡旋だ

が出來す送に悪心を起し得意 が出來す送に悪心を起し得意 が出來す送に悪心を起し得意

二圓四十九錢を横領消費し平先から前後十回に亘つて九百

平康里でつかまる主人の金を失敬した男

大會滿 商工

安東代表六名

新京商店協會宛入電があつた 議商工業者大會に安東からは 六名の代表をおくる旨十七日 六名の代表をおくる旨十七日

新舊新京地方事務所長参事武 出胤維、荒木章兩氏は着赴任 とたなほ荒木學務課長は二十 したなほ荒木學務課長は二十

ーピス係

但年齢は十七才位より二十三才位迄

新後路第一〇號 右募集す希望者は至急健脈響持益の上來験ありたし 有別の大地は日本話をかなり解する方 大地である。

帝都キネマ事務所

公益商金

各種材料部 アンパス工事部

襖 變 變 造 部

務局事務官観勉此に決定酸令徴收課長に榮轉、後任には電

全四三七五品

五千

◎御一報次第見積に多上可仕候◎

森州國常費組合問題につき石 等高器會頭と岩田消費組合幹 事長會見を斡旋した吉澤總領 事は語る

事でないから何等かの協調 事でないから何等かの協議 展るが今日の會見で何等か 解決の端緒なり方策なりを 解決の端緒なり方策なりを

は兇行の理由薄弱にして國民・一點の同情の餘地無し、とて 許さるべきでなく、被告人にに生存の權利を興へることを配合生活の一員としい被告人

四人殺事

公判

新京高女の新

强ふする文第である

舊翡翠高價にて買入▲

北京華北天骨董ヒスイ商店

週間の傷を負はせだ(四五)を轢倒し頭に全治三

長尾警務司長語る

職じ個は承襲支行から送付し 観の負債のために四苦八苦の 間であつたので直にこれに であったので直にこれに であったので直にこれに は、

E名は犯行の時期を覗つてる。東た真正の收款単を窃取し

劉耀先 (二九)

本事件は各方面官職の御盡力 ては相當厳密なる取扱手續の 経常信を受け本行が損害を蒙る る不祥事を惹起することは超 線信を受け本行が損害を蒙る る不祥事を惹起することは超 線信を受け本行が損害を蒙る る不祥事を惹起することは超 の幸である、元來現送に關し おしまり 造態に堪えない、今後はから ことなく落着したのは不幸中 動にないことら信じてゐる 伯 の幸である、元來現送に關し

満洲國警察機關も

格別の を九時半頃日本橋通六九地監 で九時半頃日本橋通六九地監 で九時半頃日本橋通六九地監 で九時半頃日本橋通六九地監 にて横斷せんとする満人劉喜

轢逃げ

今年は二百五

一校新設を豫想し

だが猛烈な競爭

訓練され

製材料三十九萬八千圓を回町記主犯者二名を逮捕し被 一十八日 疾風汎電的

中央銀行當局の談

なく親子ともどもに苦しみ苦 かわけても新京のやらに急激な 野難が叫ばれて競爭は年一年 と競しくなるばかりである、 と競しくなるばかりである、 と からに は から である く と で から で が 名小 単校 で のいて 調査したところによ た ついて 調査したところによ

式で授いとしいとし 東早けいとし

共犯三名と

支行に出頭して承徳支行員を夹に北平を設ち十七日朝錦縣

部において初頭合せをかれて 見食新京聯合會評議員會は十 出

出 第一回評議員會を開催した。 出席委員は伊睺編輯部、神瀬 ・ 会計、羽根婦人部、伴在通報 ・ 会會の態度決定、その仇數件 ・ まづ神淵會計部長が假聯合會 長に推され議事を進行、次期 長に推され議事を進行、次期

滿佛電信

・ であるが隣録の調査は毎年少く見込んである傾きがあるので本年の實際の受験者はや はり四百名以上とみられてある一方滿鐵では新京に女子の中等教育機関として現在高女 中等教育機関として現在高女

便取扱については充分

数なくつひに十七日午前六時 駅府で病氣擦養のところ悪石 別府で病氣擦養のところ悪石

が領々

かんとして起るに鑑みられて加に伴つて悪性の事故

二月下旬開 始を見ん

景品の當

ちち一等、二等、三等の常優 は十六日から輸入組合で行は れてゐるが十六日午後から十 七日までに別換へしたものゝ 七日 までの分

一等一本白米一隻、二等タを呈するであらう、なほ高樂を呈するであらう、なほ高樂

四端徹下六足、五等詞三足

大森醫伽 鹿の七四三日

MAT

胃腸の病原に

酸症には鹽酸を、含水炭素性消化不良にはヂアス 一つは胃腸疾患の種々なる症候に對してそれを補 今日の胃膓疾患の治療には二つの主流がある。 一假へば胃酸過多症には重曹を、

いたものは實に若素へわかもとしてある。 著なる効果を如實に示し本療法を今日の隆興に導 活してその機能を正常旺盛ならしめんとする細胞 更生療法である。 諸種の胃腸疾患に對して酵素を補給し、細胞に賦 基くもので、その機能を健全活潑ならしめるなら ば病原的に諸種の障碍を解消し得るとの見地から 即ち若素(わかもと)の胃腸疾患に對する効果は 胃膓を組織する細胞機能の衰退、若しくは失調に 然而との細胞更生療法の顯

らしめて膓胃の機能を病原的に が細胞の酵素作用を正常活潑な 兼ね備へたるやの觀がある。 とに一劑にして數種の對症薬を はその恢復を得しむる等、まこ 秘等の運動機能の弛緩に對して 用あり、胃アトニー、無力性便 **腸カタル等の如き炎症性變化に對しては消炎の作** その異常を正して分泌を正規ならしめ、胃潰瘍、胃 減酸症、胃酸過多症の如き分泌異常に對しては これは何れも若素(わかもと)

と)お買上げの方に年末年始の景品として、どち

に報いるため、若素(わかも

若

もわとか

らの御家庭にも是非お備へ願ひたい、「最新肖陽讀

本」及び日常食品の「整養價圖表」の二品を全國薬

く無代進呈致して居ります。

奉の遞減を目的として

業されました本會は、若素(わか

死亡率の高き結核の撲滅と、乳幼兒死亡人類の健康増進、殊に世界を通じて、最

會

店で、

庭へお備へ下さいまして、御一家皆樣の健康保持

お願ひ申

相談所を開設する等、種々の社會事業を行りまして、その他の一例としては年額數千して發賣普及に努力いたしては年額數千

村談所を開設する等、種々の社會事業を行る全國数十百萬の方々の御期待に背かざらることを努めております。

また突然するが害に對しても、

本會は出

何卒、若素(わかもと)お買求めの上、是非御家

に、よき相談役として精々御利用の程、

上げます。

營學博士 小田美穗先生著

手常など、胃臓に闘する一切を最新の摩理に基いて平易にお暮き願つたも

斯界の權威、小田美穂博士に依赐して、胃脇の生理、

新最胃

膓

讀

十四

六六

その病名と病状、

の、何處の御家庭にも是非一册は必要な影響讚本です。

△稲依症 △胃潰瘍

円臈の生理

日陽の病類 ム陽の働き

日常

告型八十種の一

復、結核の治療に異數の効果を浸揮する理由は實に玆に

て若素(わかもと)が既住の對症薬劑に比し一般衰弱の恢 の特質とする衰退細胞の賦活更生作用によるものであつ

如く之を示せる處であ

30

これ畢竟若素(わかもと)

復して徐々に體重増加の方向に轉ずるは既にその事例の

咳嗽咯痰の減少、筋肉の削痩等を停止せしめ、衰弱を恢

往の對症療法の到底企て及ばざ 秀にして廣汎なる治療成績は既 調整するによるもので、その優

ターゼを投與するが如き對症療法である。 今一つは、胃膓疾患の種々なる症候は要するに

何等の解熱劑を含有せざるに拘らず結核熱の階段的下降 て、胃腸の機能を振興 する對症療法のみでは病原よりの治療は困難である。 對症的に消化劑、刺戟劑、又は止瀉劑、解熱劑等を投與 要であつて、結核菌 然るに若素(わかもと)は、多種の消化酵素を含むを以 毒素の害を除かぬ限り、從來の如く し、食品を誘發せしむるは勿論

結核と表

解消して、中樞神經をその惡刺戟より解放することが必 從つて結核の治療には結核菌の繁殖を抑制し、菌毒素を 症候は要するに結核菌毒素の刺戟に原因するものである 結核疾患に於ける發熱、食慾不振、盗汗等の種々なる

慢性衰弱症 產婦妻弱 弱乳幼兒 駅・神経衰弱 腹炎・カリエス・黄血・脚 腹炎・肺粘核・膽粘核・肋 人工荣養兒。 勝力タリ ・食慾不振・便級及下痢 ・食慾不振・便級及下痢 終不足・胎児の祭養・産前産後の豪弱・ 症 業のエオ

榮養價圖表 新聞一頁大四色オフセット刷 炭素、灰分(Φ、銀、カルシウム等)のα 様がイタミンを始め、蛋白質、脂肪、含水疾病を防ぎ、丈夫な身體を選る頻繁素、み

全國樂店工齊進

御 慰問をいたしたいと存じて居りました。 三月の凾館大火災、九月の陽西地方大風害、秋期の東北地方以作等、もつとも著しいものでありました。本會は凾館火災には舎昭合計一萬圓、開四風害には同じく四回をそれく、客附いたしました。本會は凾館火災についるのでありました。本會は凾館火災に回をそれく、客附いたしました。 東京新橋演舞場に義捐観劇の夕を催し、そ 東京新橋演舞場に義捐観劇の夕を催し、そ 気に燃える劇團前進座の協力を得て、過般 がをお贈りいたすべく、新興の意 何卒本會の事業精神のあるところをお抱

國公芝市京東本日·元賣發

は員社錦本(ともかわ)素若、日八十二月二十年昨一 全京東でし酸滿に合数クツラトを分入千五 L餅しの] eひ舗券のそるけ於に前社本は真寫 oたしましたい布配に々人な等の編